



東北学院大学  
後援会通信

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY



## 会長のごあいさつ

東北学院大学後援会の諸活動に関らせていただきまして5年が過ぎました。その間、本会発展のため微力ながらも後援会会長の職務を遂行できましたことは、会員の皆様のご支援ご鞭撻の賜物と心より感謝申し上げます。

また、大学発展のために倉松学長を中心に教職員の方々を合わせて努力されておりますことを、ご報告と共に、なお一層のご支援をいただきたくお願い申し上げます。

さて、後援会は、在学生のご父母（保証人）の皆様を会員として、大学と家庭の連絡を密接にし、相互の理解と協力により、大学の充実と発展に寄与することを目的に設立されております。

平成13年度も、後援会総会や各地での地区後援会を実施し、多くの

後援会 会長

村松 巖

Muramatsu Iwao



会員の皆様と大学の教職員が意見を交わすことができました。大学からの各種の説明と個別面談を行いながら、それぞれに抱えておられた疑問や悩みの解決に役立つことができたものと思っております。

さらに、後援会では、皆様からご援助いただきました会費をもとに、学生諸活動助成費や奨学金助成費として円滑な学生生活の支援活動を行っております。

後援会では、平成14年度に向けて、さまざまな事業計画が立案されております。熱心な会員の皆様のご要望に応え、お役に立つことができるよう積極的に活動を進めていきたいと思っております。

会員の皆様も後援会活動に参加していただきまして、大学の教職員との交流をお楽しみいただければと願っております。



平成13年度 後援会総会の様子

## 学長のごあいさつ



学長

倉松 功

Kuramatsu Isao

後援会会員の皆様には、東北学院大学の教育・研究に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

現在、東北学院大学には学部学生が約1万3千名、大学院生約2百名が在籍しております。後援会からのご援助が、これらの学生の多様な学生生活と個性豊かな人格形成に大いに役立っていることは、申しあげるまでもございません。多くの優れた卒業生の各界での活躍が、その何よりの証と言えるでしょう。

本学の教育目標は、キリスト教文化の持つグローバルな価値の伝達、それを基礎とした幅広い人間形成を目指すことです。

すなわち、専門の知識や技術を活かし、それを公共の利益と人類の福祉のために用いることができる人間教育を本学では重視しております。

いま世界は、社会、政治、経済のあらゆる領域で急激に変化しています。そこに見られる大きな流れは、高度情報化を背景としたグローバル化です。この中であって、新しい世紀を生きる学生の皆さんには、地球規模の視野を持って、それぞれの立場で責任を自覚しながら生きていく人間となっていただくことを期待しております。

東北学院は、1886年の創立以来、こうしたグローバルな意識を持つ人材の育成に力を注いできました。

これからもこの伝統の上に、21世紀に活躍する学生の皆さんに幅広い学びの場を提供することができるよう、教職員一人ひとりが努力を惜しまない所存です。



平成13年度 地区後援会の様子

## 2001年4月～2002年3月

記事は『東北学院時報』(広報室発行)より転載しました。



(写真①)

### 大学卒業式 新世紀に巣立つ3092人 特別表彰に金澤由香さん

正課並びに課外活動において特に顕著な実績を残し、かつ大学の内外で広くその業績が認められた学生を対象に表彰する学長特別表彰が始めて設けられ、在学四年間にフィギュアスケートの国際大会に日本代表として出場するなど輝かしい実績を残した金澤由香さん(経4年)が初の栄誉を受けた。併せて後援会より記念品が授与された。式後、金澤さんは学生生活を振り返り、「全日本の合宿など、勉強との両立は大変でしたが友人や家族に支えられてやってこれました」と述べ、今後は市内の企業に勤める傍ら、後進の指導に当る。(写真①)

(2001年4月15日掲載)

### 学都仙台単位互換制度スタート

単位互換制度がスタートした。各大学間で提供科目を履修した学生総数は約70人(4月末現在)。東北学院大学では前期に二大学へ2人の学生が受講を希望し、三大学から5人の特別聴講学生(単位互換)を受け入れた。

制度施行にあたり教務部長の高橋克己経済学部教授は「初年度ということと、本年度の本学開講科目が一、二年生中心の教養教育科目に限られていることもあり、概ね予想した通りです。各大学間での調整を進め、

特色ある専門科目の公開が予定されている次年度はより多くの学生がこの制度を利用することを望みます」と期待を述べた。

(2001年5月15日掲載)

### 東北学院資料室開設

#### “建学の精神”歴史を公開

創立記念を迎えた5月15日、東北学院資料室が土樋キャンパスラーハウザー記念礼拝堂地下に開設された。東北学院資料室は、東北学院に関する歴史を将来に伝承するとともに、「建学の精神」に関連する資料を収集・保存・展示し、東北学院の発展に資することを目的に設置され、開設当初は東北学院創設の三校祖(押川方義、W・E・ホーイ、D・Bシュネーダー)に関連する写真や資料を中心として常設展示される。貴重な写真や資料の数々を同窓生をはじめ、一般の市民にも広く公開するとともに、東北学院に関わる様々な資料の受入収集についても、今後、より積極的に実施していく。(写真②③)

(2001年5月15日掲載)

### バスケットボール部の相澤さん ユニバーシアード大会日本代表に

バスケットボール部の相澤優子さん(商4)が、このほど、日本バスケットボール協会から第21回ユニバーシアード競技大会(中国北京開催)の日本代表メンバー(ポジションは



ガード)として招聘され、チームのキャプテンを務める。

全日本学生選手権などでの相澤さんの活躍が高く評価されたもの。選手団は総勢19人。一行は数回の強化合宿や海外遠征などを経て、8月24日から31日まで北京で開かれる大会に臨む。  
(2001年5月15日掲載)

## 平成14年4月から 工学部四学科名称変更

平成14年4月から工学部の機械工学科・電気工学科・応用物理学科・土木工学科の名称を、それぞれ機械創成工学科・電気情報工学科・物理情報工学科・環境土木工学科へ変更する書類を文部省に提出していたが、5月25日に大学設置・学校法人審議会より許可の内示を受け、現在申請手続きを進めている。

工学部では、環境・資源エネルギー問題など、工学のさらなる発展を目指すため、正しい技術者倫理の修得と有効な技術や情報的確な収集分析、多角的な課題に取り組む堅固な基礎力と豊かなコミュニケーション能力を持つ技術者や研究者の育成を目的として、より具体的な教育研究内容を反映させる学科名の変更に取り組んできた。

この度の学科名変更により、学科の実態や教育内容がより理解しやすい名称となったといえよう。  
(2001年6月15日掲載)

## 多様化する大学入試 各地で進学指導者懇談会

平成14年度大学入試に関する宮城県内の進学指導者懇談会が、7月5日に仙台市内のホテルで開催され、県内の高校など80校から93人の先生方が出席した。

本学主催の進学指導者懇談会は、6月27日の岩手県内を対象とした盛岡市での開催を皮切りに、青森市、秋田市、郡山市、山形市、仙台市の各都市で開催された。

はじめに倉松功学長があいさつに立ち、「東北学院大学は常に改革されるべき大学として現代社会のニーズ、とりわけ学生諸君を取り巻く社会情勢を見据えたあらゆるニーズに応えられる大学を目指しております。すでに着手している大学改革の一端として、工学部四学科名称の変更や経営学科がインターンシップ導入の試みをはじめ、全学的なIT教育と英語教育の充実を目指すなど、日々積極的な改革への取り組みを進めております」と大学改革への取り組みについて理解を求めた。

続いて、入試センター所長の林伸太郎法学部教授が平成14年度の入学試験について、工学部の学科名称変更など主だった変更点を受験ガイドなどの配布資料に基づき説明を行った。さらに学業・資格推薦入試の指定校枠や、同入試とAO入試の可否判定基準の違いなどについても実績報告とともに説明した。また、一般入試については受験科目や配点の説明に加え、現在検討中としながらも一部学科の出題形式に変更の可能性があることも明らかにした。(写真④)

(2001年7月15日掲載)



(写真②)



(写真③)



(写真④)

## 2001年4月～2002年3月



(写真⑤)



### 大学院経済学研究科に 経営学専攻の設置を申請

大学院経済学研究科への経営学専攻の修士課程の設置を、6月29日付で文部科学省に申請した。

経済学研究科は、これまで経済学専攻のみで構成されてきたが、近年の商学・経営学・会計学系科目の充実や同分野の教員スタッフの拡充などを背景に、経営学系の教育・研究を追求する専攻の設置が望まれていた。

設置申請を行った経営学専攻は、既設の経済学研究科に設置されている商学・経営学・会計学系科目を教育研究の基礎とし、母体となる経済学部商学科が今年四月から経営学科へ改称されたことも踏まえ、同学科との連携強化を図りつつ、将来の大学・研究機関の研究者・教育者の育成に限らず、地域社会・経済の問題解決と、その発展をリードできる高度な専門知識を有する職業人（ビジネス・プロフェッショナル、会計スペシャリストなど）の養成を目指している。

今後、設置協議が進められ承認されれば平成14年4月に開設の予定となっている。

(2001年7月15日掲載)

### 「地域性重視の法科大学院」設置へ

「法科大学院」とは、平成16年誕生の新型大学院である。この大学院では、弁

護士・裁判官・検察官[この3つをあわせて法曹(ほうそう)という]の養成のために、3年の職業教育を行なう。そして、原則としてこの教育を終えた人だけが司法試験(これも新しく衣替える)を受けられるようになる。

では、なぜ専門の大学院で法曹を育てる仕組みを新設するのか。まず第一には、これまでの司法試験の一発勝負だけでは、質を維持しながら、今後必要になる大量の法曹を育てられないという事情がある。また、外国語、歴史学、経済学、工学、心理学、など、学部時代に法学以外の勉強をした人も広く迎え入れ、多様な法曹を育てたいということもある。

本学法学部では昨年7月から正式に検討をはじめ、弁護士過疎の解消など東北の諸地域の要望にこたえる、地域性重視の大学院を設置できるように努力をしている。法科大学院設置によって、本学は地域への責任を果たし、地域から再評価される大学になるものと考えている。

(2001年10月15日掲載)

### 日本私立大学連盟／ 創立50周年記念事業 市民公開講座(仙台会場)開催

9月28日、日本私立大学連盟／創立50周年記念事業の市民公開講座が「21世紀における私立大学の役割」をテーマに本学協力のもと仙台ガーデンパレスで

開催された。

当日は日本私立大学連盟理事の高祖敏明氏の開催のあいさつに引き続き、基調講演で本学の倉松功学長（私立大学連盟理事）が「21世紀は私立大学の世紀―世界史の流れの中で」の演題で講演した。シンポジウムでは勝股康行氏（七十七銀行会長）、樋口美智子氏（元宮城県環境生活部次長）、阿部博之氏（東北大学総長）、高祖敏明氏（上智学院理事長）の各氏が発題し、フロアからの熱心な質疑応答が行われ記念事業を無事終了した。（写真⑤）（2001年10月15日掲載）

## 学生懸賞論文入賞者発表

本年度の東北学院大学学生懸賞論文（後援会協賛）は「環境の未来」「男女共同参画社会」「大学における学びと情報技術」というテーマに学生や院生から17編の論文が集まった。

本学教員で構成される懸賞論文審査委員会（委員長：畠山悦郎文学部教授）で厳正に審査した結果、最優秀賞ならびに優秀賞の選出は見送られたが、佳作に葛西真理子さん（史1）と相沢理恵さん（経1）の「環境の未来」の二作品が入賞した。講評で畠山委員長は「今年の傾向として低学年層からの寄稿が目立った。今後の活躍を楽しみに来年以降の企画に期待する」と話している。（写真⑥）（2001年11月15日掲載）

## 経営学科で初めての インターンシップ報告会

11月20日、経営学科では「インターンシップ報告会」を8号館押川記念ホールで開催した。経営学科のインターンシッ

プは、本年度から始まった新たな試みで、学生を受け入れていただいた22企業のうち17社の参加を得、研修を行った学生約30人と多数の大学関係者も加わり、盛大な報告会となった。

まず、学生から、貴重な研修体験が披露され、これに対して企業の担当者からも有益なコメントとアドバイスが述べられた。その後、フロアーの参加者を加えて熱心な質疑が展開され、会は盛会のうちに幕を閉じた。

本年度のインターンシップは、関係者一同、手探りの状態からスタートしたが、多くの関係者のご支援とご協力により、半年におよぶその全事業を無事に完了することができた。残された問題も少なくはないが、勉学に対する学生の意識改革や、東北地域の企業群と大学との「新たな連携の場」の形成、さらには、地域社会と大学との関係の強化といった側面において、インターンシップの意義を確認できたことは、大きな収穫であった。

本年度の成果をふまえて、経営学科では、インターンシップへの本格的な取り組みを、来年度から開始する。来年度からは、3年生を対象とした「総合講座Ⅱ」として、正式なカリキュラムの中に取り入れ、同時に、インターンシップのイントロダクションを兼ねた実践的なビジネス講座（「総合講座Ⅰ」）を新たに立ち上げる。この講座では、東北地域で活躍中の企業家による講演や、地域ビジネスに関するケース・スタディなどを行い、地域に密着したビジネス教育の充実をはかる。（写真⑦）（2002年1月15日掲載）



（写真⑥）



（写真⑦）

## ご父母の皆様へ

### — 就職部からのメッセージ —

就職部長

高橋 彌穂

Takahashi Yasuo

月日の経つのは早いもので、もうすぐ新学期が始まります。そして4年生にとってははいよいよ本格的な就職シーズンの幕開けです。

平成13年度における就職率は現在集計中ですが、大学全体の平均では90%以上には達しているものと推定されます。一方、平成14年度の就職状況は、日増しに厳しくなりつつある経済状況と昨年後期におこなった企業訪問の印象から判断しますと、良くて13年度と同等、場合によっては一段と悪化することが予想されます。

このような厳しい状況下で、自分の希望する職種や企業に就職するには、仕事の内容や

相手の企業に関する知識はもとより、仕事そのものに対する明確な意志と情熱を持つことが絶対不可欠です。そのような意味で、“特効薬”なるものは存在しません。それは、一般企業、公務員、教員を問わず該当いたします。なぜなら、面接では必ず「意志と情熱」があらわにされてしまい、それが試されるからです。学力試験の合格ラインは超えていても、面接で何度も失敗するという例では、ほとんどの場合、仕事に対する志向や情熱が不十分であることに原因があるようです。このようなことを考えますと、訪問先の企業でお会いした人事部長の、「基礎学力、とりわけ日本語を読み、書き、

そして話す能力があって、5年後にいきいきと働いている姿がイメージ出来る学生が欲しい」、という言葉が重く感じられます。まずはこのところを十二分に話し合っていたいただきたいと思います。

次に申しあげたいのは、「インターネットでのアプローチは就職活動の入り口にすぎない」、ということです。最近、インターネットを利用した就職活動が一般的になってきました。企業側からすれば、企業の概要を知ってもらうと同時に、求人募集を効率的におこなえるという利点がインターネットにはあります。また就職活動する学生にとっても便利なことは事

## 就職内定者からのアドバイス

(株)秋田銀行  
英文学科 櫻庭 良子

学内での様々な講座にはできる限り参加しました。特に企業研究講座には実際に企業の人事の方が来てくださるので、たいへん有意義なお話を聞くことができました。知らない企業だから出席しないという人もいましたが、学校に来てくださる企業はすべて優良企業ですので、ぜひ参加することをお薦めします。

青森県教員  
英文学科 蒔苗 梢

勉強はほとんど自己流でした。私が頼りにしていたのは学校です。授業ではそれぞれの分野を専門に研究なさっている先生方に教えてもらうことができます。就職課が企画して下さる教職の講演では、関係者や先輩の話を試験対策として聞くことができます。図書館では新聞から専門書に至るまで、たくさんの知識を吸収することができます。学校をフルに生かす、これが私のやり方でした。

地方公務員(仙台市)  
経済学科 工藤 浩之

地方上級を目標にしている方は、自分の受験自治体の出題科目と出題数を丁寧に調べてください。自治体によって出題数の比重が違います。地方上級は国家に比べて出題科目数が多く12~13科目出てきます。

科目ごとの出題数に差があります。中でも出題数が多いのは、憲法、民法、行政法、経済原論です。特に、民法と経済原論は早い時期からの準備が必要でしょう。

(株)七十七銀行  
経済学科 大野 一志

説明会とは企業のことをその分野を専門に研究なさっているの顔を覚えてもらうチャンスでもあるのです。最も有効な手段としては、質問することです。

話を聞くだけではもったいないと、私は思います。“顔を覚えてもらうんだ!”という意気込みで参加したほうがよいです。

(株)クレディセゾン  
商学科 加藤 浩子

少しでも興味がある会社には積極的に接触を試みました。様々な会社を見ているうちに働く将来像が明確化してきました。知名度や規模など外側から判断する情報から、働く人の雰囲気や入社したら実際にどのような仕事をするのかという内側の情報へ自分の中の判断基準が変わったように思います。

カメイ(株)  
法律学科 星 長範

私が就職活動を通して重要だと思ったポイントは

- ①早い時期から活動を始める。
- ②合同企業説明会や会社説明会、業界研究講座や企業研究講座など、人事の方と接触できる場面では必ず自分自身をアピールする。
- ③面接が勝負。まず第一印象が大事です。
- ④就職関連の行事にはすべて参加する。
- ⑤就職活動を楽しむ。何があってもプラス志向で、“就職活動を楽しむ”くらいの気持ちで臨んでください。

実です。しかしインターネットは、入り口でおこなう交通整理というステップにすぎないということです。その先には、基礎学力や個性の評価を受けることなど、越さなければならぬ山々がそびえ立っているのです。ところが最近、インターネットで企業と連絡をとることだけが就職活動の全てであるかのような錯覚を抱いてしまう学生が多くなってきました。残念ながら、このような就職活動をいかにおこなっても、良い結果は望めません。そこに残されるのは、もう済んでしまっただけのごみと化した大量の就職資料と焦燥感だけです。そうならないようにするためには、インターネットだけで終わらせないで、引き続き自ら企業を訪問し、自分の目で確かめ、直接採用担当者に会い、自分のやる気を積極的にPRすることです。

4月から2年生、3年生になる学生をお持ちのご父母の皆さん、「その時」はあつという間

にやって来ます。自分の将来について、就職の意味について、ご家庭内で納得のいくまで話し合ってください。特に教員、公務員を希望する場合は、出来るだけ早い時期に対策をたて、途中であきらめないで志気を持続させ、試験の時にそれがピークになるように心掛けてください。

お陰様で東北学院大学は、「就職に強い大学」との社会的評価を受けてまいりました。それは本学のきめこまかい就職支援システムにあります。土樋、泉、多賀城の各キャンパスには、15名のベテラン事務職員が配属されており、学生はどのキャンパスでも就職支援サービスを受けることができます。具体的な就職相談はもとより、企業案内の閲覧や就職情報検索のためのパソコンの使用も可能です。就職のための助走をつける意味からも、より積極的に支援サービスを受けることを勧めます。ま

た就職相談のサービスは、学生のみならずご父母の皆様にも開かれております。どんな相談でも構いませんので、遠慮なさらず、学生の通うキャンパスの就職事務室までお問い合わせください。

学生が自分と向き合い、自らの決断で将来を決めるのには、教員の考え方にふれることができ、それによってより幅の広いものの見方ができるという点で、ゼミナールや卒業研究などの教育の場も有意義です。したがってこれも就職支援の重要な部分です。

このような就職支援サービスの活用により、学生がそれぞれ自分の得意とする分野に進むことができ、さらにそこで活躍することができるということが、私たち就職支援に関わる者の希望であり、大きな喜びとするところであります。今後ともご父母の皆様のご協力をお願いいたします。

## 就職内定者からのアドバイス

### 国家Ⅱ種 法律学科 渡邊 哲朗

私は大学の就職部で3回の面接練習をしてもらいました。私は、面接の経験がなく、緊張しやすい性格ですが就職部の面接練習を通じて慣れる事ができました。就職部の面接練習は毎回異なる人によってもらったので、本番に近い形を体験できました。

### 住友林業(株) 二部経済学科 森 悟志

今の時代は就職情報サイトからのエントリーが主流になっています。

企業によってはエントリーをしないと説明会や選考会などの案内がわからなかったり、後からエントリーをしようと思っていると定員がいっぱいになったりする企業が多々あるので、気になる企業はすべてエントリーしておくようにしましょう。

### (株)河北新報社 人間科学専攻 八重嶋 拓也

勉強方法については、新聞を毎日読んで、気になった記事をスクラップにしたり、人名や機関などをノートにまとめたりしました。これが一般常識問題と面接に対する一番いい勉強方法だと思います。気になった記事や社説には、自分なりの感想、意見を考えました。また、マスコミは筆記試験で漢字が重要だと聞いていたので、相当な時間を費やして勉強しました。

### 東京海上火災保険(株) 言語科学専攻 小島 尚子

就職活動において最も大切なことは自己分析です。いくら企業研究を完璧にしても、面接やエントリーシートで自分を伝えられなければ意味がありません。その上面接ではたった20分程度の限られた時間で自分をアピールしなければなりません。いかに分かりやすく自分のキャラクターを相手にイメージさせることができるかが鍵です。そのためにも自己分析は面倒がらずにしっかりとやって下さい。

### NTTドコモ東北(株) 電気工学科 赤間 勢児

就職係にある報告書などを見てしっかりとした対策をたて、自分で考えられることを全て考えてNTTドコモ東北の面接に臨みました。緊張はしましたがしっかり考えてきたという自信もあり、面接官にしっかりと自分をアピールすることができたと思います。

### 三菱電気コントロールソフトウェア(株) 電気工学科 川上 直人

面接本番をむかえる前に模擬面接は必ず行ったほうがいいでしょう。私の場合、予想される質問とその答えをQ&A方式で紙に書き、繰り返し模擬面接をしていました。いざ本番となると予想もしない質問も飛んできますので、必ず質問される志望動機や研究内容ぐらいはすらすら言うように頭の中に入れておくことが大切です。

ここに紹介した「就職内定者からのアドバイス」は、「就職ガイドVOICE2002」(就職部発行)の中の「先輩の体験記」から抜粋して掲載いたしました。

## 『今、旬の人』

東北学院大学を卒業されて各界で活躍されている同窓生にスポットを当てました。

今回は、全日本空輸(株)にお勤めの大堀葉子さんにお話をうかがいました。



全日本空輸(株)

**大堀葉子**さん

福島県出身。1997年、東北学院大学文学部英文学科卒業。同年、全日本空輸(株)に客室乗務員として入社。現在、国際線に乗務。

## どのように学生時代を過ごされてきましたか

学生時代を振り返ると、オリエンテーションリーダー会とアーサイナス大学への夏期留学の記憶が特に強く残っています。

オリエンテーションリーダー会では、仲間と共にトレーニングをした記憶が思い出深いです。他の学部の学生と触れ合う機会にもなりましたし、東北学院大学のことを理解する上でも役立っていると思います。

新入生をお世話するにあたって、新入生一人ひとりに、それぞれの入学の理由があると思いますが、東北学院大学のよいところを理解してほしいと考えました。また、高校生活と大学生活の違いなども伝えたいと思いました。そういう役割を担えたらいいなと思ってオリエンテーションリーダーを志望しました。リーダーとして人間性を問われますし、縦のつながりを持てたこともよかったですね。今でも交流のある多くの仲間を持つことができました。

アーサイナス大学への夏期留学は、入学してこのカリキュラムを知った時点で行こうと決めました。学生時代に一度は留学をしたいと考えていましたから。異文化に対する興味は強く持っていました。英文学科を選択した理由も、今の仕事に就くことを高校時代から考えていましたので。

夏期留学では、今までに経験したことのない

ことを体験できるという期待は大きかったです。実際に参加してみて、日本とアメリカの文化の違いを感じました。食文化や住環境なども違いますし、宗教感の違いもあるんだなと思いました。何より人間関係のスタンスが違いましたね。当時は言葉の壁はありましたが、もっとコミュニケーションを図れるようになりたいと感じました。

## 東北学院大学には、どのような印象をお持ちでしたか

ミッション系の大学ということが印象深いです。高校は公立でしたから礼拝もはじめてでしたし、礼拝堂やパイプオルガンにも驚きました。あれだけの施設は他にもなかなかありませんね。泉キャンパスの礼拝堂のスケール感や土樋キャンパスの礼拝堂も厳かな雰囲気があって、それぞれ趣があると思います。礼拝堂がキャンパスの中にあって恵まれた環境にありますよね。クリスマス礼拝も毎年楽しみでした。

また、クリスチャンの友人もおりましたし、キリスト教学の授業で教わったりしたことにも印象に残っております。アメリカなどではステータスのある方ほど宗教を大切にしておりますので、そういった本質的な面を知る意味で、礼拝に出席できたことも含めて大学時代によい経験ができたと思っています。

学生の方には、大学をとことん利用してほ

しいですね。東北学院大学は、いい環境の中にある大学だと思います。あとは個人のモチベーションの持ち方だと思います。全日空にも卒業生がたくさんおりますが、他にもいろんな世界で活躍している友人が多いですよ。

## 今の職業にはどのような経緯で就かれましたか

学生時代、就職活動は貪欲に行いました。受けられるところは、すべて受けたと思います。今と同じように就職が厳しい時代になっていましたし、いろんな業界のことを知ることができるのも就職活動を通してですから。一人の人間として社会人になるまでに限られたチャンスだと思いました。

客室乗務員を選んだのは、あこがれていた職業でしたし、大学時代に勉強した異文化コミュニケーションにダイレクトに結びつく仕事だったからです。全日空の採用試験の際にも自分なりにできる限りのことは準備し



ました。情報収集もしましたし、志望動機や自己アピールもポイントを固めて採用試験に臨みました。国際線への乗務を希望しており、

当時、すぐに国際線を担当できる会社が今の会社でした。

## 仕事を通して、どのようなやりがいを感じますか

全日空に入って良かったと思います。努力してきた過程が成功に結びつきましたが、目標を叶えるということは大事だと思います。

また、入ってみなければわからない世界もあります。仕事をしてみると、イメージしていた以外の部分のほうが多かったです。実際に表面から見ていた部分は、全体のごく一部でした。

仕事の内容は接客業ですので、お客様に満足していただくことに仕事のやりがいを感じますし、いかに旅行の一過程を楽しんでいただけるかということに尽きますね。国際線ですと寝ずに14時間ぐらいフライトをしますが、お客様に一言「ありがとう」と言ってもらいだけで、疲れていても今日はよかったなと思います。

最近は、お客様にサービスもしますが、それだけではなくマネジメントの立場が多くなってきました。ビジネスクラスの責任者を任されたりもしております。ファーストクラス担当の資格もとりました。実際、責任の重い仕事を担当するようになってきましたが、私ぐらいの年齢ではそうないことだと思います。それは全日空の特色でもあるんですが、若

いからといって甘えが許されるようなことは一切ありません。それは、女性だからという意味でも同じです。日々、何かに追われていく感じですが、それはどこの会社にでもあると思いますし、容赦はされないという気持ちで仕事にあたっております。

仕事の特性上、お客様が病気になるれたり、天候不良で目的地に到着できなかったり、ストレスを感じることも多いです。こういう仕事ですから自己管理をすることも大切です。他の人に迷惑を掛けないようにすることにも気を使います。

## これからの目標についてうかがいます

私は専門職ですので、一客室乗務員として、より確立されたものを目指していきたいです。周囲の方から安心してマネジメントを任せたいとお願いできるような人物になりたいなと思っています。

サービスに対する評価も、日本ではまだ充分なシステムが確立されておりませんが、自分でもよいサービスを受けて参考にしたり、尊敬できる先輩を見習ったり、ソムリエの資格を取得したり、食材の知識を学んだり、より質の高いサービスを提供できるよう、これからも努力をしていきたいですね。

村野井 仁ゼミ 文学部 英文学科

## ● テーマ:第二言語習得の認知プロセス



### ゼミの研究内容について

我々のゼミでは、第二言語習得研究といって、母語以外の言語を身につけるときに起こる変化や必要な状態などについて研究しています。論文のテーマや課題は主に先生が用意し、個人か、グループで一つの課題に取り組みます。一言に第二言語習得といっても研究内容は実に複雑で、脳内での変化といった目に見えないところでの変化に関しては、大変理解に苦しむものです。なぜなら、変化が目に見えないだけに仮説を検証するしか手段がないからです。そして、導かれた答えは確実に正しいものとも言えないのです。

### 雰囲気について

ゼミはAとBの二つのクラスで構成されていますが、人数が多い(総数で58名)ので、黒板や先生に背中を向けて座っている人もいます。積極的に意欲的な人が集まっていると思いますが、討論をするということではなく、地味に質問をします。先生はいつも中心的な存在とは限らず、発表者を影から支え補足を



する立場になることもしばしばです。この先生の補足のお陰で、理解に結びつくことがよくあります。

しかし、先生の質問は鋭く、その質問に明確に答えられないこともよくあります。そんな時は少なくとも先生が鬼に思えます。

### ゼミで学ぶことにどのような意義がありますか?

講義ではなく自分が授業に加わり、先生とゼミの皆と触れ合うことで、内容に取り組む以前に自分の存在する意味があるように感じられました。また、グループで一つの論文を読むという難しさや発表するための準備は、決してゼミ以外の場では味わえなかった苦労だと思っています。

そして、村野井先生より実践的な勉強の必要性和知識、特に体験話などを常に教授していただくことに、何よりもこの“村野井ゼミ”の魅力が隠れているのではないかと思っています。

文学部 英文学科 3年  
松本 将

## 齋藤 修研究室 工学部機械創成工学科(旧 機械工学科)

## ● テーマ:超音波穴あけ加工に関する研究、自由曲面創成加工に関する研究

### 研究室の内容について

研究室に配属されている学生は、4年生が7人、院生が1人の合計8人です。自由曲面創成加工に関する研究では、企業からの図面をもとにして切削のプログラムを創りマシニングセンタで加工します。ここではスノーボードのペンディングを加工するためのプログラムと、さらには工作物を機械に取り付けるための治具や加工手順を考え、より精度良く加工するためにはどのようにしたらいいかという事を研究しています。一方超音波穴あけ加工に関する研究では環境にやさしく耐熱性、耐摩耗性に優れた材料のセラミックスを扱っています。実験では一定の加工圧で負荷を与えながら工具形状が変化することによって、どのような加工量、加工速度および加工寸法精度が得られるかを調べます。そしてデータをグラフ化し分析しています。

### 雰囲気について

研究で使用している実験装置は大変高価

なものであり、まさに小さな工場のような雰囲気になっています。パソコンの台数も十分にあり、なにも不自由なく研究に取り組むことができます。また、週1回必ず研究集会を開き、どこまで実験が進んでいるのかを、先生と学生の間で確認合います。この集会では齋藤先生に卒業研究のことはもちろん、私たち学生が社会に出てからやるべきこと、その心構え等についての話題にも及びます。たまには冗談も交えながらの討論となり先生とのコミュニケーションも十分にとれている研究室です。

### 卒業研究の意義は

卒業研究は大学の講義で学んできたことをまとめる場であり、これから社会に出た時のための知識を身に付ける場でもあると思います。自分たちが行ってきたことについて筋道をきちんと立て論理的にまとめ、それを他の人に分かりやすいように説明する訓練の場でもあります。

つまり、卒業研究で発表(プレゼンテーシ



ョン)するということは、たとえテーマは異なっても社会に出れば必ずあることであり、そのための準備期間であると思います。また研究室の人達と力を合わせ、一つの目的に向けて作業するという事は、社会に出ても誰かと協力して仕事を進めていく場面は必ずあるはずなので、そのための練習であるとも考えることもできます。

このように3年間で学んだ知識以上に大事な経験をつめることが、卒業研究をすることの大きな意義だと思っています。

工学部 機械工学科 4年  
清水 孝行



## ● 東北学院大学シンフォニックウインドアンサンブル



### サークルの活動について

私たちは Symphonic Wind Ensemble、通称 SWE という吹奏楽サークルです。現在64名が在籍しており、一年を通して様々な活動を行っています。大きな行事として夏の吹奏楽コンクールへの参加、毎年12月には定期演奏会を開いており、この二大行事へ向けて日々練習に励んでいます。

また応援三者トレフレッチェの一員として応援団・チアリーディングチームと共に応援活動も行っており、野球の応援を中心に、北海学園大学・青山学院大学両校との定

期戦にも遠征をしております。大学祭前にはマーチングによるパレードやアトラクション、その他各種演奏会や福祉施設への慰問演奏会等々、幅広く活動しております。

### サークルの雰囲気

64人という大人数で“音楽”という一つのことを創り上げようとする時、大切なことは一人ひとりの力です。ややもすると人数が多いほど一人というものは埋もれがちですが、お互いがはっきりと自己主張していかなければ良いものは創れません。私達のサークルはこのことを前提とする

ため、個性がはっきりして自分を伝えようと努力する者が多く集まっているように思います。大学生活の多くの時間をサークル員として過ごし、たくさんの方を通して私達はかけがえのない仲間を得ます。広く浅い関係が好まれる昨今ではより貴重な財産と言えるかもしれません。その大切な仲間と一つの音楽を創ることができたとき、それは至福の時、唯一無二の感動の瞬間なのです。

今年度は特に悲願であった全日本吹奏楽コンクール全国大会に東北代表として返り咲くことができ、また銀賞を受賞し、サークル員一丸となった年でもありました。音楽を通して目には見えない、言葉にできない大切なものを得る。だから私達はこのSWEをやめられないのです。

### 学生生活における意義

大学生活は自由な時間を多くもてる時期です。その時間を、ただひたすらサークル活動に費やす。馬鹿げていることかもしれませんが、得るものは限りなくたくさんあります。好きなことを通して、妥協せずに追求することを知り、自分が何をやりたいのかを知り、他人が何を考えているのかを知る。大学生にもなるとそれぞれの



自分というものがはっきりしていて、  
 その中で切磋琢磨することで自分が  
 成長し、自己の可能性を知ること  
 できる。大学生活におけるサークル  
 活動は、たくさんのチャンスがあふれ  
 る場なのです。

教養学部 教養学科  
 人間科学専攻 3年  
 本庄谷 奈央



## Telephone Guide

東北学院大学テレフォンガイド  
 お問い合わせは各窓口に

### ◆成績・各種証明書について

教務課(土樋) TEL 022(264)6451  
 学務係(土樋二部) TEL 022(264)6475  
 学務係(多賀城) TEL 022(368)1119  
 学務係(泉) TEL 022(375)1141

### ◆課外活動・奨学金について

学生課(土樋) TEL 022(264)6471  
 学生係(土樋二部) TEL 022(264)6476  
 学生係(多賀城) TEL 022(368)1120  
 学生係(泉) TEL 022(375)1151

### ◆キャンパス見学について

総務課(土樋) TEL 022(264)6421  
 庶務係(多賀城) TEL 022(368)1116  
 庶務係(泉) TEL 022(375)1121

### ◆入学試験について

入試課(土樋) TEL 022(264)6455

### ◆就職について

就職課(土樋) TEL 022(264)6481  
 就職係(多賀城) TEL 022(368)1101  
 就職係(泉) TEL 022(375)1161

### ◆海外留学について

国際交流センター事務局(土樋)  
 TEL 022(264)6425

### ◆大学院について

大学院事務局(土樋)  
 TEL 022(264)6365

### ◆学費について

会計課(土樋) TEL 022(264)6441

### ◆後援会について

後援会事務局(土樋・調査企画課)  
 TEL 022(264)6424

### ◆同窓会について

同窓会事務局(土樋)  
 TEL 022(264)6468

### ◆アルバイトの募集について

アルバイト委員会(土樋)  
 TEL 022(264)6393  
 アルバイト委員会(泉)  
 TEL 022(375)1159

## ご 父 母 の 声

### 後援会総会アンケートから

大学に要望された後援会会員のご意見を紹介します。このご意見は、平成13年度後援会総会（2001年7月7日開催）の際に、『後援会総会に関するアンケート』の中で寄せられました。これらはその一部ですが、すべてのご意見は関係者で目を通し、改善可能なものについては、担当部局での課題とさせていただきます。

なお、後援会事務局では、随時会員の皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。ご意見、ご要望のある方は、遠慮なくご連絡ください。

後援会事務局（調査企画課）

TEL 022-264-6424 FAX 022-264-3030

E-mail:kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

- 図書館と体育館を見学させていただきました。明るく広々としていて内容が充実している事に見るにつけ、東北学院大学に入れた良かったとつくづく思いました。
- もっと多くの学生が自由にインターネットが出来る環境を作ってほしい。
- 図書館等、こんな立派な施設で学べる今の学生は本当に幸せだと思う。ただ息子が果たしてこれをどれだけ活用しているのか。夢のようなキャンパスです。
- 建物が一ヶ所に集中しており、利用はしやすいと思うが、その反面緑地が少ない。森林の中に学舎がある方がよい。
- 子供の悩みを真剣に聞いて下さり、励ましてくださった、先生方に感謝します。
- 総会の後の就職部の方の話が終わり、学科別懇談会に出席したのですが、すでに進行しており、よくわからないままでした。どちらの時間に従えば良かったのでしょうか。
- 先生と話し合える機会が出来ました事うれしく思いました。
- 体験学習を教育の中に取り入れた方がよいのでは。
- とても親切な説明で満足しました。職員の“真心”がよく伝わりました。（女性職員でした）
- 大学の定員割れが少子化という現実の中で、経営も大変だと思いますが、今後益々の発展を期待いたします。
- 息子は2学年時、留年となっていました。親としても残念ですが、子の学業の進捗状況がもっと早く分かれば、息子に忠告したりできたのに、と思います。今後そういう方向で、検討頂きたいものです。
- 今後とも、学生・大学・父母の情報交換を密にする活動を継続されることを望みます。
- 親の教えることが年々少なくなり、淋しくもあり、成長したナーと思うもあり、将来を見つめる力をもつ、教育を望む。
- 先生方と交流できる機会がほしいと思います。父母として分からない事をすぐお聞きできる窓口が知りたいです。
- 18歳の息子は、まだまだ大人になりきれず、まさに発展途上人という感がある。海のものとも山のものともつかない子供が人間としてすぎていくための基本的な事、人間として土台となる事をみっちり叩き込んでいただきたい。21世紀に残る大学として、東北学院大の果たす役割は非常に大きいと思う。
- 特待生には授業料半額制度があるようですが、優等生についても、枠を少し増やし、10%程度でも助成制度があれば、学生の学習意欲も増すと思いますがどうでしょうか？
- 仙台市の行事やボランティアなど、もっと多く学生諸君が参加してほしい。今、福祉大に負けているのではないかな。
- 本人にとって、最も適している（希望を含

- めて)就職に繋がられる進路の方向付けを依頼すると共に、安心して学べる大学であってほしい!
- 困ったことがあれば、いつでも相談に乗ってくれそうな雰囲気がとても良いと思う。
  - 施設設備は、もうこれ以上拡充する必要はないと思う。これからは、これらの施設を活用することに全力をあげ、学生の勉学向上・質的向上を図るべきだと思う。そして出来れば授業料(学費)を少しずつでも下げる方向で努力してほしいと願う。父母の負担は、これ以上不可能と考える。
  - 4年間、学生生活を楽しく安心して暮らせるような環境と、卒業後も、学院を誇れるような、大学であってほしいと思います。
  - 奨学金制度については、このような時世においては、大変必要なことと思います。本日の学科懇談会の際、留学に関し、奨学制度が充分ではないと聞きましたが、勉学(留学)の意欲のある学生に対しては、補助の見直しも必要かと思いましたが…。
  - つめ込みの教育ではなく、社会に出てからもなるべく流れに合うような教育内容が好ましいと思われるので、よろしく願いしたいと考えています。
  - 学長のあいさつは、今の学校の内容、これからの目指す学校の様子がわかりました。私たちの力では何もできませんが、前進できる学校にしていってください。
  - 初めて大学構内を見学し、素晴らしい環境の中で学ぶ事ができる子供達を大変うらやましく思い、また、スタッフの方々の案内にも感動しました。お天気も良かったせいか有意義な一日でした。ありがとうございました。来年も楽しみにしています。
  - 子供たちの勉強の場所である、キャンパス内見学・大学内の施設開放は父母にとっては満足できるもので良いと思います。きれいなキャンパス、恵まれた環境は大変素晴らしいですね。
  - 入学した時の希望と夢が存続できる、誇りをもって卒業していける学び舎を希望します。学長のお話にありましたように、ITと英語コミュニケーション、しっかりと学べるようにお願いしたいです。学生のバックアップを後援会に期待します。
  - 東北私学の雄として、社会に貢献できる人材の発掘のため、その成果が着実に根付くような、学校、後援会での活躍を益々進められたい。
  - 東北地方、いや、全日本の大学の雄として、今後も子供たちの教育をしっかりとやってもらいたい。今年度で卒業の予定ですが、いろいろとお世話様でした。東北学院大学に栄えあれ。
  - 演習講義、体験学習の取り入れ、就職に役立つ教育をしてもらいたい。
  - 初めてキャンパスを見学いたしました。お天気もよく、爽やかな風に吹かれて心地よい一日でした。対応された方々には大変お世話になりました、ありがとうございます。バランスのとれた人間になれるよう、ますますのご指導をよろしく願いいたします。
  - 後援会だけでなく、公開講座やコンサート、各施設の見学等、ふだんあまり見られない所、耳にできないお話を拝聴できる公開プログラムはとても素晴らしいものと思います。開かれた学校でありますよう、これからも期待しております。
  - 視野を広げ、良い刺激、体験をさせてほしい。海外留学等、生涯に残る心の教育をお願いします。
  - 人として一人前の社会人になれるよう人格形成に力を入れてほしいと思います。
  - 今はただ、娘がこの学校を選んで良かったと思っております。あとは、学生たちが自信と誇りを持って学校のレベルアップに努力してくれることを願うばかりです。
  - 東北学院大学に入学させたことが本当によかったことかどうかは、子供の卒業時にははっきりわかると思います。親としては本人に期待するしかありませんが。

## 平成14年度 後援会総会開催概要

日時：平成14年7月6日(土)10時40分

場所：泉キャンパス礼拝堂

- 「後援会総会」に合わせて7月6日(土)は、各種のプログラムを用意してご父母の皆様をお待ちしております。なお、正式なご案内は、6月に全会員の皆様にお届けいたします。

時間	プログラム
10:00~10:30	<b>大学礼拝</b> ●学生と一緒に大学礼拝に参加してみませんか。聖書を朗読し、説教に耳を傾け、讃美歌を歌いましょう。
10:40~12:00	<b>後援会総会</b> (1)開会宣言 (2)聖書朗読・祈禱 (3)後援会会長・学長あいさつ (4)議事 ●平成13年度庶務報告 ●平成13年度収支決算報告 ●会計監査報告 ●会長推挙 ●平成14年度収支予算案説明 (5)閉会宣言 <b>教務部・学生部・就職部からのご説明</b>
12:00~12:30	<b>休憩</b>
12:30~13:20	<b>本学教員による公開講座</b>
13:30~14:20	<b>パイプオルガンコンサート</b> ●パイプオルガンの荘厳な音色の中で優雅な一時をお過ごしください。
14:30~15:30	<b>学科(専攻)別懇談会</b> (1)学科(専攻)の教育の特色について ●学科カリキュラムの特色について ●教員スタッフの紹介 ●ゼミの内容について ●学科に関連する施設、設備の内容について など (2)質疑応答(学科の教育内容、授業内容など何でもご質問ください) (3)学科(専攻)教員との自由懇談(希望者) 15時30分より
16:30(終了)	

**11:00~14:30**  
**昼食**

受付にて「昼食券」をお渡しいたしますので、学生食堂にて学生ランチ等をお召しあがりください。

**12:00~16:30**  
**相談コーナー**

①教務部  
●成績表の見方について  
●進級・卒業について

②学生部  
●学生生活全般について  
●クラブ活動について  
●アルバイトについて

③就職部  
●進路全般について  
●企業への就職活動について  
●教員・公務員への試験対策と準備について

どのようなことでも気軽に相談ください。

**10:40~16:30**  
**大学開放**

①施設開放  
●図書館  
●情報処理センター  
●オーディオ・ビジュアルセンター

②クラブ活動  
●体育館  
●グラウンド

③大学紹介  
●ビデオ上映(オーディオ・ビジュアルセンター)

各施設ともご自由に見学して下さい。

## 平成14年度 地区後援会開催一覧

●後援会総会に出席が難しい宮城県を除く各地区の皆様にご案内いたします。なお、該当する地区の皆様には7月上旬にご案内いたします。

開催地区	期 日	会 場	開催地区	期 日	会 場
函 館	9月5日(木)11時00分	函館ハーバービューホテル	酒 田	8月10日(土)11時00分	酒田東急イン ル・ポットフー
旭 川	9月6日(金)11時00分	旭川ターミナルホテル	米 沢	8月9日(金)11時00分	東京第一ホテル米沢
札 幌	9月7日(土)11時00分	札幌ステーションホテル	郡 山	8月9日(金)11時00分	郡山ビューホテル アネックス
弘 前	9月5日(木)11時00分	シティ弘前ホテル	福 島	8月10日(土)11時00分	福島ビューホテル
青 森	9月6日(金)11時00分	青森グランドホテル	会津若松	9月5日(木)11時00分	会津若松ワシントンホテル
八 戸	9月7日(土)11時00分	八戸グランドホテル	いわき	9月6日(金)11時00分	いわき東急イン
秋 田	8月24日(土)11時00分	秋田ビューホテル	相 馬	9月7日(土)11時00分	光陽会館
横 手	7月26日(金)11時00分	横手プラザホテル	高 崎	7月25日(木)11時00分	高崎ワシントンホテルプラザ
一 関	7月27日(土)11時00分	ホテルサンルート一関	水 戸	9月5日(木)11時00分	水戸京成ホテル
盛 岡	8月31日(土)11時00分	ホテルメトロポリタン盛岡	宇 都 宮	8月10日(土)11時00分	チサンホテル宇都宮
大 船 渡	7月26日(金)11時00分	大船渡プラザホテル	東 京	7月26日(金)11時00分	品川プリンスホテル
宮 古	7月27日(土)11時00分	宮古ホテル沢田屋	新 潟	9月6日(金)11時00分	新潟ワシントンホテル
山 形	8月24日(土)11時00分	ホテルキャッスル	浜 松	7月27日(土)11時00分	オークラアクトシティホテル浜松
新 庄	8月9日(金)11時00分	グリーンホテル			

### おわび (地区後援会開催地区の削減について)

これまで東北学院大学では、北海道から東海地区まで34都市で地区後援会を開催してまいりましたが、開催地区の見直しを図り、平成14年度より、27地区にて地区後援会を実施していくことになりました。

この背景には、学生の出身地区の構成が変化し、10年前との比較でも、出席者が半数以下に減少した地区があることによるものです。

実施を見合わせる事となりました地区の皆様には、

ご迷惑をおかけすることとなり、たいへん心苦しく思っております。ここに改めて深くおわび申し上げます。皆様には、ご不便をお掛けすることになりますが、何とぞご理解を賜りたくお願い申し上げます。

なお、地区後援会のプログラムの中では、教職員との懇談の時間をじっくりとりたいと計画しております。移動の時間は長くなると思いますが、近隣の開催地区へのご出席をお待ちいたしております。

また、後援会事務局では、ご質問やご相談を随時

受け付けております。後援会並びに地区後援会への出席が難しい方につきましては、いつでも電話等によりお問い合わせさせていただきますようお願い申し上げます。

平成14年度地区後援会の開催を見合わせた地区  
釧路、帯広、室蘭、大館、北上(一関との隔年開催)、  
釜石、鶴岡



## 東北学院大学

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3番1号

●東北学院大学ホームページ

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp>

**土樋キャンパス** 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1  
<文学部、経済学部、法学部(各3・4年生)、文学部二部、経済学部二部>  
<大学院 文学研究科、経済学研究科、法学研究科>

**多賀城キャンパス** 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1  
<工学部><大学院 工学研究科>

**泉キャンパス** 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1  
<文学部、経済学部、法学部(各1・2年生)、教養学部>  
<大学院 人間情報学研究科>

2002年3月 20日発行

東北学院大学後援会